



たましんりんかがくえん  
**多摩森林科学園**  
 森を楽しむ見学ガイド

高尾駅から  
 徒歩10分で  
 森の入口



多摩森林科学園は森林に関する研究機関です。森の科学館、樹木園、サクラ保存林を通年公開しています。

## 森の科学館 ～森のあれこれ～

### 常設展示

- ・多摩の森の生き物たち  
多摩の森の植物やそこに住む動物のくらしを紹介しています。
- ・サクラ保存林へようこそ  
桜の野生種、長い歴史を持つ栽培品種、開花時期など、桜の基礎知識を紹介しています。
- ・ようこそ森の学校へ  
森林から林業、身近な木材まで森林の多様な魅力を体験しながら学ぶ森林教育のプログラムを紹介しています。

### 特別展示

- ・期間限定で企画展を行っています。

### セミナー室

- ・森林講座(毎月1回)など開催します。

館内に園内ガイドマップ  
 をとりそろえています。  
 お好きなマップをどうぞ。



### 一般の方へ:園内ガイドツアー

森の案内人が樹木園やサクラ保存林を散策しながら、森の動植物を中心に、樹木の名前や見分け方、季節の見どころ、森の機能などについて解説いたします。裏面の「ガイドツアーのご案内」をご覧ください。

### 学校の方へ:学習入園

小学校・中学校・高校等の授業の一環としての森林に関する体験学習の支援をしております。学習入園では、無料入園していただき、園内ガイドなども利用いただくことができます。(事前申込をお願いします)

## サクラ保存林 ～3月後半から4月末まで華やかに咲く～

8ヘクタールの広さを持つサクラ保存林には、日本全国の主要なサクラの栽培品種や名木、天然記念物などの接ぎ木クローンが、約500栽培ライン、1,800本植えられています。

サクラの栽培品種は江戸時代以前から多くの種類が育成されてきましたが、現代に引き継がれているのはその一部です。このような伝統的栽培品種を収集・保全し、正確な識別・分類や系統関係の研究を進めています。

サクラの開花期については30年以上の観測が継続されています。'染井吉野'の開花記録は気象庁によって全国で蓄積されていますが、サクラ保存林では同じ場所での多種類の観測記録が蓄積されています。



### 桜めぐり

桜シーズンには園内の桜の開花状況をホームページで発信しています。多くの桜が咲くのは3月後半から4月末までの期間です。染井吉野よりも遅く咲く八重桜の仲間も多いので、長い期間、桜の花を楽しむことができます。



## 樹木園 ～季節の植物を楽しみませんか～

多摩森林科学園には7ヘクタールの樹木園があります。ここには昭和の初期から、国内外の樹木約500種、3,500本が植えられています。

第1樹木園では、国内外の針葉樹を中心に見ることができます。桜保存林への連絡経路にもなっている第2樹木園は、落葉樹も多く四季の変化が楽しめます。第3樹木園は、もとは林業用樹木の試験林で外国産の樹木が中心です。

園内では775種の野生植物が記録され(2010年)、樹木園や桜保存林などで季節ごとにいろいろ観察できます。



### 森のポスト

第2樹木園では、時々白い箱に出会えます。箱の中には、その樹木と私たちのつながりなどを示す、木製品や模型が入っています。

身近な樹木の、新たな一面を発見してみませんか。



### 樹木園解説板など

樹木園や桜保存林では、樹木や桜の解説板を設置しています。また、草花やシダの簡単な解説板もあちこちに設置しています。

園内でみられる多様な植物を季節ごとに楽しみませんか。



## 多摩森林科学園の生きものたち

### 昆虫 ～虫の気持ちになって森を見よう～

多摩森林科学園では、これまでに78種のチョウ、33種のトンボ、約120種のカミキリムシなどをはじめ、多くの昆虫が記録されています。ルリボシヤンマ、アオタマムシ、オオトラカミキリなど、東京近郊では珍しい昆虫も見つかっています。

ギフチョウのように既に絶滅してしまったと考えられる昆虫もありますが、その一方でヨコヅナサシガメやラミーカミキリのような暖地性の種や帰化昆虫も侵入してくるようになりました。このような生き物の変化を長期間にわたって記録していくことも、研究所の重要な役割のひとつです。



### こんちゅうスポット

園内で見られる昆虫や、それらと関係の深い昆虫の生態・分類などに関する解説板を、樹木園や桜保存林の50か所以上に設置してあります。季節ごとの観察にご利用いただき、生き物に対する理解を深めてください。



### 動物 ～気配が感じられますか～

高尾山などの大きな山林と近接している多摩森林科学園には、多様な動物が生息しています。

桜保存林は、樹高が低く、比較的開けた環境のため、鳥類の観察に適しています。林縁、草地、水場などの環境や季節ごとに異なる鳥類が見られます。

樹木園にはムササビが生息しています。ムササビは夜行性ですが、夜の間に残した食べあとやフンを見つけることができます。運が良ければ昼間でも巣穴から顔を出している姿を見ることができます。

最近ではシカ、イノシシ、サルも侵入してきました。出会ったときは落ちついて、適切な対応ができるように、看板やパンフレットを用意していますので、参考にしてください。

### 観察ポイント



### 注意ポイント



エサを与えないでください



# アクセス



- JR高尾駅北口から徒歩約10分
- 駐車場はありません

# 園内案内図

- 樹木園
- サクラ保存林



白く塗りつぶしたエリアは補修のため当分の間閉鎖となります。

この区間は12月～2月の間、開放する予定です。

**開園時間** 午前9時30分から午後3時30分まで  
4月は9時開園(閉園は午後4時)

**入園料** 4月:大人300円 子供100円  
5～3月:大人200円 子供 無料  
\* 子供とは小・中・高校生です  
\* 森の科学館のみご見学は通年無料(受付でお申し出ください)

**休園日** ・毎週月曜日  
(月曜日が休日に当たる場合はその翌日)  
・12月26日から1月6日まで

**園内ガイドツアー**  
ガイドツアーは祝祭日を除く火曜日・水曜日・金曜日の開園日10時から実施します。雨天の場合は当日の状況を見て判断します。ガイドツアーは無料です。(入園料は必要)。予約制ではありません。当日、森の科学館入口にお集まりください。ガイドの都合等により急きょ中止になることがありますので、ホームページでご確認ください。桜の季節(3月後半～GW)は混雑するため、お休みします。

**学習入園**  
小・中・高校等における学習支援を目的に、繁忙期(3月上旬から5月連休を除く平日開園日)に、学習入園を実施しています。詳細は多摩森林科学園ホームページ「見学案内/入園案内」をご覧ください。

**お問い合わせ先**  
森林総合研究所 多摩森林科学園  
〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81  
TEL: 042-661-0200(森の科学館/お客様専用番号)  
開園日の9:30～16:00にお電話願います。(4月は9:00～)  
メール: kouhotama@ffpri.go.jp (広報担当)  
ホームページ  
<https://www.ffpri.go.jp/tmk/>



見学にあたっての所要時間は、コースや体力によりますが、1時間～3時間くらいです。詳しくは係員にお尋ねください。園内は軽いハイキングの服装がおすすめです。

## 入園に際しての注意事項

<p>●立ち入り禁止区域に入らないでください。</p>	<p>●焚き火、携帯コンロなどの使用は禁止です。</p>	<p>●酒類の持ち込み、飲酒はできません。</p>	<p>●ゴミはお持ち帰りください。</p>
<p>●動植物の採取・持ち込みはおやめください。</p>	<p>●混雑時に狭い歩道での三脚の使用はおやめください。</p>	<p>●犬、その他のペットの連れ込みは禁止です。</p>	<p>●食事はベンチのある所でお願いします。 ●食品の販売はありません。飲み物の自動販売機は森の科学館前にあります。 ●敷地内は全面禁煙です。</p>
<p>●捕虫網、虫かごなどの持ち込みは禁止です。</p>			

- : 案内板
- 00 : 標識柱
- 休 : 休憩所
- T : トイレ

標識柱の番号は順路を示すものではありません。

- 園内での販売や業としての写真撮影などは、事前に園長の許可が必要です。
- 不快感を与えると認められる方は、入園をお断りします。
- その他、係員の指示があった場合は、それに従ってください。
- 気象等の特別警報、警報が発令された場合は閉園となりますので、気象情報等にご注意ください。